



故宮崎高等農林學校校長宮原忠

正毅勲，  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和三年十月二日

内閣總理大臣男爵田中義一



内

閣



昭和三年十月一日 内閣官報

昭和三年九月二十五日 十月廿日 十月廿日 十月廿日

内閣總理大臣 臣

賞勳局總裁



故宮崎高等農林學校校長從三位勳三等宮原忠正儀ハ明治二十五年七月帝國大學農科大學農學科ヲ卒業ノ上山形縣及靜岡縣ニ於テ中學校教諭ヲ奉職シ更ニ滋賀縣靜岡縣及福島縣ニ於テ中等蠶業學校校長ニ奉職シ又福島縣技師山梨縣技師山梨縣

賞勳局

農事試驗場長等ニ任セラレ明治三十九年六月韓國統監府勸業模範場技師ニ擢用セラレ次テ朝鮮總督府勸業模範場技師ニ任セラレ爾來龍山支場長原蠶種製造所長女子蠶業講習所長蠶業試驗所長等トシテ朝鮮ノ農業開發ニ盡瘁スルコト十有九年就中朝鮮ニ於ケル蠶業ノ發達ニ關シテハ最モ心血ヲ注キ斯業開發ニ貢獻セル所尠カラズ大正十三年六月ヨリ宮崎高等

めくれず



農林學校創立事務ヲ主宰シ同年十月校長ニ任セラレ創業時代ノ校長トシテ諸規則ノ制定校基ノ確立人材ノ任用設備ノ充實ニ努メタル等功績顯著ノ者ニ候處本月二十五日死去セル趣ニ付此際特ニ同日附ヲ以テ勲二等ニ叙シ瑞寶章ヲ授ケラレ度此段允裁ヲ仰ク

内閣



故宮崎高等農林學校長從三位勲一等宮原忠正  
叙勲二等授瑞寶章

右ハ明治二十五年七月帝國大學農科大學農學  
科ヲ卒業ノ上山形縣及ヒ静岡縣ニ於テ中學校  
教諭ヲ奉職シ其ノ間陸軍ニ召集セラレ兵役ニ  
服シ陸軍少尉ニ任官シ更ニ滋賀縣静岡縣及ヒ  
福島縣ニ於テ中等蠶業學校長ニ奉職シ其ノ功  
勞尠カラス又福島縣技師山梨縣技師山梨縣農  
事試驗場長等ニ任セラレ日露戰役ノ際ニハ再

文部省

ニ召集セラレテ從軍シ勲功アリ明治三十九年  
六月韓國統監府勸業模範場技師ニ擢用セラレ  
後日韓併合成ルル朝鮮總督府勸業模範場技師  
ニ任セラレ爾來同模範場ノ龍山支場長原蠶種  
製造所長女子蠶業講習所長及ヒ蠶業試驗所長  
等トシテ朝鮮ノ農業開發ニ盡瘁スルコト十有  
九年ニシテ大正十三年現官ニ轉シタリ而シテ  
同人ノ公生涯ハ我國蠶業界ニ大ナル足跡ヲ印  
シ殊ニ朝鮮ニ於ケル蠶業ノ發達ニ關シテハ最  
モ心血ヲ注キタリ



抑モ韓國時代ノ蠶業ハ其ノ技術ニ於テ又經濟  
ニ於テ極メテ幼稚ノ域ニアリ之ヲ今日ノ進歩  
セル状態ニ比スレハ真ニ霄壤ノ差異アリト謂  
フモ過言ニアラス同人カ其ノ間ニ在リテ指導  
開發ノ任ニ當リテ苦辛慘愴セルモノ真ニ尠少  
ニ非ルナリ

例ヘハ實地指導ニ際シ通譯ニ依ルノ效果比較  
的少ナキヲ慨シ自ラ鮮語ヲ習得シテ遂ニ之ニ  
練達セルカ如キ其ノ熱誠ノ一班ヲ窺知スルヲ  
得ヘシ今總督施政當時ト大正十四年トヲ比較

文 部 省

スルニ養蠶戸數ニ於テ七倍總收繭額ニ於テ實  
ニ二十倍ノ増加ニシテ斯ク顯著ナル進歩ヲ致  
セルモノ實ニ主トシテ同人熱誠從事ノ結果ト  
謂フヘク勞功洵ニ大ナルヲ認ム以下朝鮮ニ於  
ケル同人ノ業績ヲ概説センニ先ツ蠶業ノ基礎  
タル桑樹ノ栽培ヲ獎勵シテ桑田面積ヲ擴張シ  
且ツ從來ノ野生的業質劣悪ナルモノヲ逐次優  
良品種ノモノニ改メ以テ桑田ノ面目ヲ一新セ  
シメタリ即チ大正十四年ノ桑田面積ハ始政年  
次ノ其レニ比シ實ニ十二倍ノ驚クヘキ進歩ヲ



示セリ次ニ蠶種ノ製造并ニ其ノ貯藏ニ關シテハ從來ノ非科學的傳來ノ方法ヲ以テセル原始的蠶業法ヲ一掃シ又優良種ヲ普及センカ爲ニ指導啓蒙ニ努メ遂ニ始改當時皆無ナリシ専門蠶種業者大正十四年ニ於テ二百八十餘名ヲ算シ蠶種枚數六十五万六百五十枚ノ多キニ達シタリ次テ又蠶兒飼育ニ關シテハ在來ノ蠶兒ノ生理ヲ解セズ迷信的習慣ニヨリテ行ハレタリシモノヲ同人ハ其ノ部下ヲ督シ普ク各種ノ試驗研究ヲ遂ケ以テ内地飼育法ニ近キ實績ヲ舉

文部省

ケ收繭額ノ激增ヲ來シタリ其ノ他或ハ各種ノ蠶病試驗ヲ行ヒ蠶業各機關ヲ督勵シ蠶體ノ病虫害ノ防除ニ好成绩ヲ舉ケ或ハ女子蠶業講習所長トシテ指導階級ノ女子三百餘名ヲ養成シタル等斯業開發ニ貢獻セル功績洵ニ甚大ナリトス尙蠶業ノ外棉花栽培ニ於テモ明治三十八年朝鮮ノ名士ト相謀リ棉花栽培協會ヲ組織シ棉實ノ採種圃ヲ經營シ棉花ノ試作ヲナシテ好成绩ヲ舉ケ之レカ普及ニ關シテハ農民ノ啓蒙ノ爲ニ幾多ノ困難ト闘ヒテ遂ニ一般ニ優良ナ



ル米國種ノ栽培ヲナシ四十天培餘(大正十四年)  
ノ增收ヲ見ルニ至ラシメタリ

又朝鮮ノ一般農事並ニ農業教育ニ對シテハ朝  
鮮勸業模範場ノ創立以來其ノ經營ニ參劃シテ  
貢獻スル所尠カラズ殊ニ同地最高ノ農業教育  
機關タル水原農學校首席教諭トシテ多大ノ盡  
瘁ヲナシタリ

斯クテ大正十三年六月新ニ第十高等農林學校  
創立委員ノ重任ヲ囑セラレ宮崎高等農林學校  
創立事務ヲ主宰シ同年十月茲ニ現官タル同校

文 部 省

長ニ任セラレタリ爾來五開年創業時代ノ校長  
トシテ各般ノ諸規則ヲ制定シテ校基ヲ確立シ  
經營上幾多ノ抱負經綸ヲ伸ヘ其ノ高潔ナル人  
格ト周密ナル思慮トハ能ク後進ノ推服憬仰ヲ  
一身ニ聚メタリ近時教育機關ノ擴張ニ依リ直  
轄諸學校創業ノ難局ニ當リタル者少カラスト  
雖モ宮崎縣ノ如キ交通並物質供給ノ不便ニシ  
テ人材ノ任用ト設備ノ充實ニ多大ノ困難ヲ感  
スルハ他ニ其ノ例ヲ見サル所ナリ而シテ同人  
ハ能ク其ノ難局ニ善處シ創業校長トシテ不朽



ノ名ヲ止ムルハ信シテ疑ハサルトコロナリト  
ス然ルニ頃者ニ豎ノ侵ス所トナリ加餐之レ努  
メシモ遂ニ本月二十五日薨去セリ  
希クハ上述多年ノ功績ヲ認メラレ特ニ生前ニ  
遡リ頭書ノ通叙勲ノ榮ヲ與ヘラレンコトヲ  
右謹テ奏ス

昭和三年九月二十六日

文部大臣勝田主



文部省















農林省各系より提出

宮原忠正功績調査書

明治三十九年統監府勸業模範場創設セラル、ヤ同場技師ニ任セラレ蠶業係主任トナリ翌四十年桑園蠶室其他ノ設備未タ完成セサルニモ拘ラス百難ヲ排シテ春夏秋蠶ヲ飼育シ朝鮮ノ氣象ニ適應スル品種ノ選定及玄月蠶術ニ付調査シ其成績ヲ公表シテ普ク當業者ニ其ノ據ハ所ヲ知ラシム當時朝鮮ノ蠶品種ハ悉ク三眠蠶ニシテ南貨極テ劣等殆ト經濟上ノ價值ナキモノナリシヲ以テ品種ノ改良及育蠶技術ノ指導ハ實ニ朝鮮蠶業開發ノ第一歩ニシテ勸業模範場ニ於ケル如上ノ事蹟ハ朝鮮蠶業ノ今日ヲ致セル根源ヲナセリ 又朝鮮蠶絲業上最モ憂フヘキ蠶兒ノ害敵多化性蠶蛆ノ經過習性ヲ調査研究シテ之カ防除ノ方法ヲ講シ普ク之カ實行ヲ期シ其被害ヲ軽減セシメタリ。

農林省

明治四十三年八月日韓ノ併合感ルト共ニ勸業模範場官制改正セラレ龍山ニ支場ヲ置キ專ラ蠶絲業ニ関スル事務ヲ管掌スルト、ナルヤ同支場長ニ任命セラレ總督ノ訓令ニ基キ原蠶種配付ノ術ニ當リ優良蠶種ノ普及ニ盡瘁シ大正二年同支場廢止セラレ本場内ニ原蠶種製造所及女子蠶業講習所ヲ設置セラル、ニ及ヒ西所長ヲ兼テ原蠶種ノ配付ヲ始メ一般蠶絲業ノ研究調査並實地指導ノ事務ヲ掌理シ一面婦人蠶業指導者ノ養成ニ努メ幾多ノ研究調査ノ成績ヲ公表スルト共ニ有為ノ婦人指導者ヲ輩出シテ朝鮮蠶絲業ノ開發ニ寄與セリ。  
右ノ如ク明治三十九年ヨリ大正十三年宮崎高等農林學校長ニ任命セラレ、追實ニ十八年ノ長ヤ尚終始一貫朝鮮蠶絲業ノ開發ニ專念シ同地今日ノ盛況ヲ致セル其ノ功績著大ナリトス。



文 部 省

内閣  
文部第51号

號

故宮原忠正敍勲ノ件  
右 上奏書及進達候也

昭和三年九月二十七日

文部大臣勝田主計



内閣總理大臣男爵田中義一殿



めくれず

裏面白紙